

# I. 教育課程および単位制度

## 1. 教育課程

生命科学部の授業科目は、**教養系科目**と、**専門教育科目**からなり、これらの科目を4年に配当して授業を実施しています。卒業して学士の学位を得るためには所定の授業科目の単位を修得しなければなりません。卒業するために必要な単位数およびこの内容に関する規定は極めて厳格なものであり、この「履修の手引き」を熟読し、誤りのないよう十分に注意してください。

また、教育職員・図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員等の資格取得志望者のために、教職・資格に関する科目が設置されています。

## 2. 単位制度

本学における教育課程は、すべてに単位制度が採用されています。単位制度とは、所定の授業科目の履修を終了し（所定の期間を受け終わること）、平素の学習・出席状況および試験・レポート等による成績評価の結果、合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得していく制度です。また、特定条件を満たすことにより単位が認定される科目もあります。

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を自習も含めて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、大学設置基準第二十一条に則り計算するものとします。

(1) 毎週1回14週の授業で1単位の場合は1時間の授業時間外学習を必要とする。

(2) 毎週1回14週の授業で2単位の場合は4時間の授業時間外学習を必要とする。

## 3. 卒業所要単位および修業・在学年限

本学部を卒業し学士（生命機能学科：生命科学、環境応用化学科：理学、応用植物科学科：生命科学）の学位を得るためには、4年以上（最高8年）在学し、各学科の定める単位数を修得しなければなりません。各学科の定める要件については、本書の各学科の案内を確認してください。

**卒業所要単位** ※詳細は必ず各学科のページで確認してください。

科目系列		必要単位数	
教養系科目	英語科目	8単位	計32単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)
	教養科目	24単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)	
	理系教養科目		
専門教育科目	学部共通科目	80単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)	計124単位以上
	学科共通科目		
	学科専門科目		
	専修専門科目		
自由選択科目		12単位以下	
教職・各資格関係科目		卒業所要単位には含まれません	

### 3. 進級条件・卒業要件、履修上の留意点

ここでは最も重要な「進級条件・卒業要件」について説明します。以下に記された事項を満たさないと、4年間で卒業することが非常に難しくなります。

進級・卒業するためには、以下の要件を1単位も漏らすことなく、すべて満たさなければなりません。また、該当学年の進級条件だけを満たすのではなく、卒業にむけて計画的な履修計画を立てることが大事です。

		教養系科目		専門科目	自由選択科目	合 計
		英語科目	教養科目 (人文・社会・自然科学系・保健体育系・選択語学系リテラシー系) 理系教養科目 (数学系・理科系)	学部共通科目 学科専門科目		
1 年 次	2年への 進級条件					30単位 以上
	履修上の 留意点	・少なくとも36単位以上の修得を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。				
2 年 次	3年への 進級条件			植物医科学基礎実験Ⅰ・Ⅱ 植物生産基礎実習Ⅰ・Ⅱ 植物医科学応用実験Ⅰ・Ⅱ の修得		60単位 以上
	履修上の 留意点	・1年次修得単位と2年次修得単位の合計として、少なくとも72単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。				
3 年 次	4年への 進級条件	8単位				96単位 以上
	履修上の 留意点	・1～2年次修得単位と3年次修得単位の合計として、少なくとも108単位以上を目指すこと。 ・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。				
4 年 次	卒業要件	8単位	24単位以上	80単位以上 (必修26単位を含む)	計12単位 以下	124単位 以上

※ 卒業要件について：英語科目の8単位、教養科目・理系教養科目の合計24単位と、専門科目の合計80単位の修得だけでは、卒業要件（合計124単位以上）を満たすことができません。したがって、さらに12単位分を教養科目・理系教養科目・専門科目・自由選択科目から修得してください。

※ GPA 制度の活用により、ポイントの少ない学生には、進級留級にかかわらず、本人並びに保証人に対して履修指導を行います。